

NetIQ Identity Manager Designer 4.8 リリースノート

2019年10月



NetIQ Identity Manager Designer 4.8 には、新機能が追加され、さらに使いやすくなっており、以前にあった問題もいくつか解決されています。

これらの改善の多くは、お客様から直接ご提案いただいたものです。皆様の貴重なお時間とご意見に感謝いたします。弊社の製品が皆様のご期待に添えるよう、引き続きお力添えを賜りたく存じます。フィードバックがございましたら、弊社のコミュニティ Web サイト [Identity Manager Community Forums](#) までお寄せください。こちらのサイトでは、製品通知、ブログ、および製品ユーザグループのサービスも提供しています。

以前のリリースの新機能の詳細については、[Identity Manager マニュアルの Web サイト](#)で「以前のリリース」のセクションを参照してください。

このリリースと最新のリリースノートに関する詳細情報については、[Identity Manager のドキュメントページ](#)を参照してください。この製品をダウンロードするには、[Identity Manager 製品 Web サイト](#)をご覧ください。

- ◆ [1 ページのセクション 1 「新機能と変更点」](#)
- ◆ [3 ページのセクション 2 「システム要件」](#)
- ◆ [3 ページのセクション 3 「Designer 4.8 のインストール」](#)
- ◆ [3 ページのセクション 4 「Designer 4.8 へのアップグレード」](#)
- ◆ [3 ページのセクション 5 「オフラインモードでの Designer パッケージの更新」](#)
- ◆ [4 ページのセクション 6 「macOS 10.14 \(Mojave\) への Designer のインストール」](#)
- ◆ [6 ページのセクション 7 「既知の問題」](#)
- ◆ [8 ページのセクション 8 「連絡先情報」](#)
- ◆ [8 ページのセクション 9 「保証と著作権」](#)

1 新機能と変更点

この後の各セクションでは、このバージョンで提供されている主な機能、製品から削除された機能、およびこのリリースで解決されている問題について概要を示します。

- ◆ [1 ページのセクション 1.1 「新機能」](#)

1.1 新機能

このリリースでは以下の主な機能が提供されています。

- ◆ [2 ページのセクション 1.1.1 「サポートしているオペレーティングシステム」](#)
- ◆ [2 ページのセクション 1.1.2 「Java 8 Update 222 のサポート」](#)
- ◆ [2 ページのセクション 1.1.3 「パッケージバージョン管理用の Git の使用」](#)

- ◆ [2 ページのセクション 1.1.4「新しい Workflow Form Builder を使用したフォームの作成のサポート」](#)
- ◆ [2 ページのセクション 1.1.5「パフォーマンスの改善」](#)

1.1.1 サポートしているオペレーティングシステム

このリリースでは以下のプラットフォームのサポートが追加されました。

- ◆ SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 12 SP4、および SLES 15
- ◆ RedHat Enterprise Linux (RHEL) 7.5、RHEL 7.6、RHEL 8
- ◆ Windows 2016、Windows 2019
- ◆ MacOS 10.14 (Mojave)
- ◆ SUSE Linux Enterprise Desktop 15
- ◆ OpenSuSe LEAP 15 以降

1.1.2 Java 8 Update 222 のサポート

Designer は Java 8 Update 222 にアップデートされました。

1.1.3 パッケージバージョン管理用の Git の使用

Identity Manager では、Designer のパッケージのバージョンを管理するために、オープンソースバージョン管理システムである Git が導入されています。Git を使用すると、変更の履歴を管理、追跡、維持したり、以前の状態の取得またはパッケージのさまざまな状態の比較を迅速かつ効率的に行うことができます。詳細については、『[NetIQ Designer for Identity Manager Administration Guide](#)』の「[Managing Package Versions Using Git](#)」を参照してください。

1.1.4 新しい Workflow Form Builder を使用したフォームの作成のサポート

Identity Manager では、新しい Workflow Form Builder でフォームを作成および管理するために、Designer のプロビジョニング要求定義エディタに [JSON フォーム] という名前の新しいタブが導入されています。このタブを使用して作成されたフォームは、JSON 形式で保存されます。

[JSON フォーム] タブの使用の詳細については、『[NetIQ Identity Manager - Administrator's Guide to Designing the Identity Applications](#)』の「[About Form Builder](#)」を参照してください。Workflow Form Builder でのフォームの作成の詳細については、『[NetIQ Identity Manager - User's Guide to Form Builder](#)』を参照してください。

1.1.5 パフォーマンスの改善

Designer のパフォーマンスを改善するために、Designer ソフトウェアに次の変更が加えられました。

- ◆ Designer の起動速度を向上させるために、ドライバ設定ファイルは Designer 起動スクリプトの一部ではなくなりました。代わりに、これらのファイルは Designer インストールパッケージにある別のプラグインに含まれています。ご使用の環境で必要なドライバのプラグインから環境設定ファイルを手動でロードする必要があります。
- ◆ Designer を使用すると、Identity Manager 環境でインストールされたパッケージを管理して、必要なパッケージのみをご使用の環境に保持することができます。

Designer を初めて起動すると、[Manage Package (パッケージの管理)] ウィンドウが表示されます。または、[ヘルプ] > [Manage Packages (パッケージの管理)] に移動します。詳細については、『[NetIQ Designer for Identity Manager Administration Guide](#)』の「[Managing Installed Packages](#)」を参照してください。

- ◆ [アウトライン] ビューで、ユーザアプリケーションドライバを拡張できません。[プロビジョニング] ビュータブを使用して、ユーザアプリケーションオブジェクトに変更を行います。

2 システム要件

ハードウェア要件とサポートされているオペレーティングシステムの詳細については、ドキュメント『[Identity Manager 4.8 のシステム要件](#)』を参照してください。

3 Designer 4.8 のインストール

Identity Manager 4.8 を購入した後、[Identity Manager 製品 Web サイト](#)にログインして、購入したソフトウェアをダウンロードできるリンクをクリックします。次のファイルがあります。

ファイル名	説明
Identity_Manager_4.8_Designer_Linux.tar.gz	Linux 用の Designer が含まれています
Identity_Manager_4.8_Designer_Windows.zip	Windows 用の Designer が含まれています
Identity_Manager_4.8_Designer_MacOSX.dmg	MacOS 10.14 (Mojave) 用の Designer が含まれています

インストールキットをダウンロードするには、[NetIQ Downloads の Web サイト](#)を参照してください。

4 Designer 4.8 へのアップグレード

Designer インストールプログラムを使用して、Designer 4.7 を Designer 4.8 にアップグレードできます。サポートされているアップグレードパスについては、『[NetIQ Identity Manager セットアップガイド\(Linux 用\)](#)』の「サポートされているアップグレードパス」を参照するか、『[NetIQ Identity Manager セットアップガイド\(Windows 用\)](#)』の「サポートされているアップグレードパス」を参照してください。

5 オフラインモードでの Designer パッケージの更新

オフラインモードで Designer パッケージを更新するには、コンピュータ上のローカルディレクトリでパッケージ更新ファイルを使用できるようにして、次にこのディレクトリからファイルを読み込むように Designer を設定します。

パッケージ更新ファイルのオフラインコピーを作成するには：

- 1 Designer がインストールされているコンピュータにログインして、ローカルディレクトリを作成します。
- 2 ステップ 1 で作成されたディレクトリにパッケージ更新ファイルをコピーします。
 - ◆ **Linux:** シェルで、そのディレクトリに移動して、以下のコマンドを実行します。

```
wget -r -nH -np https://nu.novell.com/designer/packages/idm/updatesite1_0_0/
```

```
wget -r -nH -np https://nu.novell.com/designer/packages/idm/updatesite2_0_0/
```

- ◆ **Windows:** 次の操作を実行します。
 1. 以下の URL のいずれかを使用してパッケージ更新サイトを起動します。
 - ◆ https://nu.novell.com/designer/packages/idm/updatesite1_0_0/
 - ◆ https://nu.novell.com/designer/packages/idm/updatesite2_0_0/
 2. 必要なファイルを選択してダウンロードします。

ローカルディレクトリからファイルを読み込むように Designer を設定するには:

- 1 Designer を起動します。
- 2 Designer のメインメニューから、**[Windows]** > **[初期設定]** をクリックします。
- 3 **[NetIQ]** > **[Package Manager]** > **[Online Updates (オンライン更新)]** をクリックします。
- 4 **[プラス]** アイコンをクリックして、新しい URL を追加します。
- 5 以下のフィールドに情報を指定します。

5a [ベンダ] : パッケージ更新のベンダ名を指定します。

5b [URL] : URL として `file:///<path_to_files>/packages/idm/updatesite1_0_0/` を指定します。

Linux にマウントされた ISO の場合、以下の URL フォーマットを使用します:

`file:///media/designer460offline/packages/idm/updatesite1_0_0/`

`file:///media/designer460offline/packages/idm/updatesite2_0_0/`

注: 複数のパッケージサイトを追加するには、このステップを繰り返して指定された URL を含めます。

- 6 **[OK]** をクリックします。
- 7 **[初期設定]** ウィンドウで当該のサイトに対して必要なチェックボックスを選択します。

注: デフォルトでは新しいサイトが選択されます。

- 8 **[適用]** をクリックし、**[OK]** をクリックします。
- 9 Designer のメインメニューから、**[ヘルプ]** > **[Check for Package Updates (パッケージ更新の確認)]** をクリックします。
- 10 必要な更新を選択して、**[はい]** をクリックし、Designer パッケージの更新を受け入れて更新します。
変更を有効にするには、Designer を再起動する必要があります。

6 macOS 10.14 (Mojave) への Designer のインストール

NetIQ には、Designer を macOS 10.14 にインストールするために Identity_Manager_4.8_Designer_MacOSX.dmg ファイルが用意されています。

Designer を macOS システムにインストールするには、次のアクションを実行します。

- 1 [NetIQ Downloads の Web サイト](#) から Identity_Manager_4.8_Designer_MacOSX.dmg をダウンロードします。

注: Designer アプリケーションには、Designer の起動を妨げる com.apple.quarantine などの検疫属性が含まれることがあります。この問題を解決するには、『[NetIQ Designer for Identity Manager Administration Guide](#)』の「Unable to Launch Designer Application on Mac」を参照してください。

- 2 表示されるポップアップウィンドウから、Designer フォルダをインストールする場所にドラッグアンドドロップします。

デフォルトでは、Designer を「アプリケーション」フォルダにダウンロードするように求められます。このフォルダに Designer をインストールすることを選択すると、Launchpad に Designer ショートカットが作成されます。

重要: オペレーティングシステムに Designer の 2 つのインスタンスをインストールする際は、次の考慮事項が当てはまります。

- ◆ これらのインスタンスを 2 つの異なるフォルダにインストールします。
 - ◆ Designer の既存のインスタンスを含むフォルダに新しいインスタンスをインストールします。この場合、Designer の新しいインスタンスを配置する前に、必ず最初のインスタンスの名前を変更してください。
-

- 3 Designer をはじめて起動し、次のメッセージが表示される場合は、updateInfoPlistScript.py スクリプトを実行する必要があります。次のメッセージが表示されない場合は、機能が不足したまま、Designer と Azul Zulu JDK アプリケーションの Info.plist ファイルが更新されます。

このメッセージが表示されない場合は、[ステップ 4](#) に直接移動してください。

図 1 古い Java SE 6 のインストールに関するメッセージ



注: システムに Azul Zulu JDK バージョン 8u222-b10 がインストールされていない場合は、これを <jdk>.dmg ファイルからインストールしてからのみ、updateInfoPlistScript.py スクリプトを実行してください。

次の操作を実行します。

- 3a** ブラウザを開いて、次の URL を指定します。 <https://nu.novell.com/designer/IDM-Designer-MacOSX/> (<https://nu.novell.com/designer/IDM-Designer-MacOSX/>)

- 3b** updateInfoPlistScript.py ファイルをダウンロードします。

- 3c** ターミナルウィンドウを起動し、updateInfoPlistScript.py ファイルをダウンロードしたディレクトリから次のコマンドを実行します。

```
sudo python updateInfoPlistScript.py
```

- 3d** Azul Zulu JDK バージョン 8u222-b10 に対応する値を指定します。

3e 表示される Designer バージョンのリストから、必要な Designer バージョンに対応する値を指定します。

Info.plist ファイルが更新されます。

4 launchpad 上の Designer アイコンまたはインストール済みフォルダから Designer アプリケーションをクリックして Designer を起動します。Designer の使用に関する詳細については、『[NetIQ Designer for Identity Manager Administration Guide](#)』を参照してください。

Designer のアンインストール

Designer をアンインストールするには、Designer フォルダを右クリックして **[ゴミ箱に入れる]** を選択します。

Designer がアンインストールされると、ショートカットは Launchpad から自動的に削除されます。

Designer のトラブルシューティングについては、『[NetIQ Designer for Identity Manager Administration Guide](#)』の「[Troubleshooting Designer](#)」を参照してください。

7 既知の問題

NetIQ Corporation は、弊社の製品が企業のソフトウェアの必要にかなった質の高いソリューションを提供できるよう努めています。次の問題は、現在調査中です。いずれかの問題についてさらに支援が必要な場合は、[テクニカルサポート](#)に連絡してください。

- ◆ [6 ページのセクション 7.1「PRD の比較機能で新しい JSON フォームのフォームの依存関係が表示されない」](#)
- ◆ [6 ページのセクション 7.2「Select Form \(フォームの選択 \) フィールドが単一値から複数値に変更された場合に、PRD が更新されない」](#)
- ◆ [7 ページのセクション 7.3「Identity Manager バージョン 4.7.3 とともに Designer 4.8 を使用するとポリシーの追加が失敗する」](#)
- ◆ [7 ページのセクション 7.4「ユーザアプリケーションドライバ 4.7 パッケージがインストールされる場合に、バージョン 4.7 ではなく 4.8 のヘルプデスクチケットテンプレートパッケージがインストールされる」](#)

7.1 PRD の比較機能で新しい JSON フォームのフォームの依存関係が表示されない

問題: 新しい JSON フォームを使用したプロビジョニング要求定義の場合に、**[比較]** 機能でフォームの依存関係が表示されません。PRD の展開に対して **[比較]** > **[Reconcile (調整)]** 操作が使用される場合は、フォームフィールドのどの変更も展開されません。

解決策: **[展開]** 機能を使用して、フォームの依存関係を表示し、フォームで行われた変更を展開します。

7.2 Select Form (フォームの選択) フィールドが単一値から複数値に変更された場合に、PRD が更新されない

問題: Form Builder で、**[選択]** フィールドなどのフィールドの属性を単一値から複数値に変更する場合は、変更が PRD で更新されません。テキストエディタの PRD では、次のように target-type="single-value" と表示されます。


```
<data-item
    data-type="string" name="select2"
    target="flowdata.Start/selectfieldrequest/select2"
    target-type="single-value"/>
```

解決策 : PRD で変更の target-type="multi-value-list" を更新するには、次のアクションを実行します。

1. PRD ビューに移動し、フォームに関連付けられているアクティビティをクリックします。[選択] フィールドの target-type="multi-value-list" が更新されます。
2. PRD を保存および展開します。

7.3 Identity Manager バージョン 4.7.3 とともに Designer 4.8 を使用するとポリシーの追加が失敗する

問題 : Designer 4.8 で、Identity Manager バージョン 4.7.3 とともに使用する場合に、新しい DirXML スクリプトポリシーを追加すると、「Failed to create the part's controls (パーツコントロールの作成に失敗しました)」というメッセージが表示されます。

解決策 : この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- 1 ご使用のシステムで Designer 4.8 がインストールされている場所に移動します。
<Designer_installation_path>\plugins\com.novell.idm.policybuilder_<latestversion>\DTD
例 : C:\netiq\idm\apps\Designer\plugins\com.novell.idm.policybuilder_4.0.0.201906141638\DTD
- 2 dirxmlscript4.7.2.dtd ファイルをコピーして貼り付け、その複製を作成します。コピーを dirxmlscript4.7.3.dtd という名前に変えます。
- 3 Designer を再起動します。

7.4 ユーザアプリケーションドライバ 4.7 パッケージがインストールされる場合に、バージョン 4.7 ではなく 4.8 のヘルプデスクチケットプレートパッケージがインストールされる

問題 : Designer 4.8 で、Identity Manager バージョン 4.7.3 とともに使用する場合に、ユーザアプリケーションドライバ 4.7 パッケージを作成すると、ドライバ環境設定ウィザードにより、バージョン 4.7 ではなく 4.8 の「ヘルプデスクチケットプレート」パッケージがインストールされます。

解決策 : 「ヘルプデスクチケットプレート」を 4.7 にダウングレードする次の手順を実行します。

- 1 [アウトライン] ビューで、[識別ポータル] を右クリックし、[プロパティ] を選択します。
- 2 [パッケージ] オプションを選択します。
- 3 「ヘルプデスクチケットプレート」で、[操作] ドロップダウンをクリックし、[ダウングレード] オプションを選択します。
- 4 バージョンを「4.7」として選択します。
- 5 [OK] をクリックします。

8 連絡先情報

弊社の目標は、お客様のニーズを満たすマニュアルの提供です。改良点に関するご意見は、Documentation-Feedback@netiq.com (<mailto:Documentation-Feedback@netiq.com>) まで電子メールでお寄せください。貴重なご意見をぜひお寄せください。

詳細な連絡先情報については、[サポート連絡先情報 Web サイト](http://www.netiq.com/support/process.asp#phone) (<http://www.netiq.com/support/process.asp#phone>) を参照してください。

一般的な会社情報と製品情報については、[NetIQ Corporate の Web サイト](http://www.netiq.com/) (<http://www.netiq.com/>) を参照してください。

他のユーザや NetIQ のエキスパートとやり取りするには、弊社の[コミュニティ](https://community.microfocus.com) (<https://community.microfocus.com>) のアクティブなメンバーになってください。NetIQ オンラインコミュニティでは、製品情報、有益なリソースへの役立つリンク、ブログ、およびソーシャルメディアチャンネルが用意されています。

9 保証と著作権

保証と著作権、商標、免責事項、保証、輸出およびその他の使用制限、米国政府の規制による権利、特許に関する方針、および FIPS コンプライアンスの詳細については、<https://www.netiq.com/company/legal/> を参照してください。

Copyright © 2019 NetIQ Corporation. All Rights Reserved.